

工事番号																(様式 - 1)																																																															
									課長			係長			検算			担当																																																													
令和 5 年度																				市道新設改良事業																				市道穂高2313号線橋梁改修工事																				閲覧設計書																			
穂高195号橋																				安曇野市																				穂高																																							
設										計										大										要										施 工 方 法										請 負																													
橋梁改修工事 床版工 RC床版 中桁 1本 外桁 2本										施 工 期 間										131 日間																																																											
										起工予定年月日										令和 年 月 日																																																											
										竣工予定年月日										令和 年 月 日																																																											
										契約保証方法										金銭的保証																																																											
										・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合は除きます。																																																																					

# 総括情報表

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	61 安曇野市 0 1 実施単価 50 1 1 中信 ( 2 ) 05.04.01			
	当 世 代	前 世 代		
前払率 ( % ) 消費税率 ( % ) 工種 施工地域区分 ( 共通仮設 ) 施工地域区分 ( 現場管理 ) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 豪雪割増	40 10 % 02 河川道路構造物 06 一般交通影響有り ( 2 ) - 2 06 一般交通影響有り ( 2 ) - 2 02 上記以外 01 金銭的保証 02 豪雪割増無し			

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 本工事費 ***					
穂高195号橋					
		式			
R C 橋工					
		式			
土工					
		式			
床掘り 土砂 小規模	10	m 3			施工 第0 -0001号表
埋戻し 小規模 土砂	5	m 3			施工 第0 -0002号表
碎石埋戻し	5	m 3			施工 第0 -0003号表
残土処理工		式			
土砂等運搬 小規模 DID区間なし 3.5km以下 バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	7	m 3			施工 第0 -0004号表

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
残土等処分					
	9	m 3			工種 第0001号表
撤去工					
		式			
鉄筋コンクリート構造物取壊し					
	4	m 3			工種 第0002号表
殻運搬					
	4	m 3			工種 第0003号表
鉄筋コンクリート処分					
	10	t			工種 第0004号表
鋼材撤去					
	0.2	t			工種 第0005号表
土台工					
		式			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設					
	3	m 3			施工 第0 -0010号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					
	10	m 2			施工 第0 -0011号表

( 工事費内訳書 )

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 S D 3 4 5    D 1 3 構造物種別による補正なし					
	0.06	t			施工 第0 -0012号表
ボイド管					
	12	本			
床版工					
		式			
＊桁等購入費＊					
中桁					
	1	本			
外桁					
	2	本			
架設工 ( クレーン架設 )					
		式			
架設工					
	3	本			施工 第0 -0013号表
ラフテレーンクレーン [ 油圧伸縮ジブ ] 賃料 2 5 t 吊 ( 燃料油脂費含む )					
	1	日			

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
支承工					
		式			
ゴム支承	1	m2			
ゴム支承加工費	12	箇所			
目地板 瀝青質目地板 t=20mm	2	m 2			施工 第0 -0014号表
アンカー固定側	6	本			
アンカー可動側	6	本			
無収縮モルタル	0.007	m 3			施工 第0 -0015号表
地覆工		式			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設	0.4	m 3			施工 第0 -0010号表

( 工事費内訳書 )

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	5	m 2			施工 第0 -0011号表
鉄筋工 S D 3 4 5 ( ねじ節鉄筋 ) D 1 3 構造物種別による補正なし	0.04	t			施工 第0 -0016号表
仮設工		式			
仮設工		式			
敷鉄板賃料	15	枚			工種 第0006号表
敷鉄板運搬	6	回			工種 第0007号表
敷鉄板設置撤去 22 × 1524 × 3048	70	m 2			工種 第0008号表
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊					
技術管理費					

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費						
			式			
技術管理費						
			式			
技術管理費						
			式			
平板載荷試験（構造物基面）掘削別途 反力用重機費用含む：１０ｔ以内						
	1		箇所			
** 現場環境改善費（率分）**						
率 0.0263						
** 共通仮設費率計算額**						
補正無の率 0.2077						
			補正後の率	0.2492		
** 共通仮設費計**						



( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 純工事費 **						
** 現場管理費 ** 補正無の率 0.4254						
			補正後の率	0.4679		
** 工事原価 **						
* 一般管理費等 * 補正無の率 0.2352						
			前払率補正	1.0000 契約保証補正 0.0004		
** 工事価格計 **						
** 消費税等相当額計 ** 率 0.1000						
** 工事費計 **						
( 参考 ) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額 率 0.0352						

## 残土等処分

# 工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0010

[illegible]

# 工種明細表

工種 第0002号表

[illegible]

## 殼運搬

# 工種明細表

工種 第0003号表

頁0-0012

[illegible]

## 工種明細表

工種 第0004号表

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0005号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設部材撤去工						施工 第0 -0009号表
		1	t			
*** 単位当り ***						
		1	t			

## 敷鉄板賃料

## 工種明細表

工種 第0006号表

頁0-0015

[illegible]

## 敷鉄板運搬

## 工種明細表

工種 第0007号表

頁0-0016

[illegible]



敷鉄板設置撤去

工 種 明 細 表

工種 第0008号表

22×1524×3048

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板設置・撤去						施工 第0 -0019号表
		1	m 2			
*** 単位当り ***						
		1	m 2			

# 施 工 内 訳 表

頁0-0018

床掘り  
土砂

施工 第0 -0001号表

機械構成比： 21.91% 労務構成比： 70.90% 材料構成比： 7.19% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[ 後方超小旋回 ] 排ガス 2 次 山積 0 . 2 8 m 3	21.91%	供用日		バックホウ（クローラ型）[ 後方超小旋回 ] 排ガス 2 次		
運転手（特殊）	38.51%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	32.39%	人		普通作業員		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	7.19%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

# 施工内訳表

頁0-0019

床掘り

土砂

機械構成比： 21.91%

勞務構成比： 70.90%

小規模

材料構成比： 7.19%

市場単価構成比： 0.00%

施工 第0 -0001号表

1  
標準単価：

m 3 当り

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0020

埋戻し  
小規模

施工 第0 -0002号表

機械構成比： 10.54% 労務構成比： 85.61% 材料構成比： 3.85% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[ 後方超小旋回 ] 排ガス 2 次 山積 0 . 2 8 m 3	9.89%	供用日		バックホウ（クローラ型）[ 後方超小旋回 ] 排ガス 2 次		
タンパ及びランマ [ ランマ ] 質量 6 0 ~ 8 0 k g	0.65%	供用日		タンパ及びランマ [ ランマ ]		
普通作業員	48.85%	人		普通作業員		
特殊作業員	19.39%	人		特殊作業員		
運転手（特殊）	17.37%	人		運転手（特殊）		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	3.24%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		

施 工 内 訳 表

埋戻し  
小規模

施工 第0 -0002号表

1

m 3 当り

機械構成比： 10.54% 労務構成比： 85.61% 材料構成比： 3.85% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー スタンド	0.61%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
施工方法：上記以外(小規模) 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				土質：土砂		

碎石埋戻し

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0003号表

頁0-0022

10 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生クラッシャーラン 4 0 mm以下	12	m 3			
埋戻し 小規模 土砂	10	m 3			施工 第0-0002号表
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			

# 施 工 内 訳 表

頁0-0023

土砂等運搬

小規模 DID区間なし 3.5km以下

バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)

施工 第0 -0004号表

1 m3 当り

機械構成比： 25.82% 労務構成比： 62.21% 材料構成比： 11.97% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 4 t 積級	25.82%	供用日		ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		
運転手 ( 一般 )	62.21%	人		運転手 ( 一般 )		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	11.97%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：小規模 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：3.5km以下				積込機種・規格：バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

処分費  
残土処分

施工 第0 -0005号表

100 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	m 3			
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
処分費（円 / m 3 ）：					



# 施 工 内 訳 表

頁0-0025

構造物とりこわし  
鉄筋構造物 機械施工

低騒音・低振動対策 不要

施工 第0 -0006号表

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工 鉄筋構造物 機械施工 制約無 昼間	1.000	m 3			
諸雑費	1	式			
* * * 単位当り * * *	1	m 3			
構造物区分：鉄筋構造物 低騒音・低振動対策の有無：低騒音・低振動対策 不要 時間的制約の有無：時間的制約なし			施工区分： 機械施工 夜間作業の有無：夜間作業（ 2 0 時～ 6 時）なし		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0026

殻運搬

施工 第0 -0007号表

ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし

機械積込 DID区間なし 5.7km以下

1

m 3 当り

機械構成比： 43.25%

労務構成比：

42.18%

材料構成比： 14.57%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 1 0 t 積級	43.25%	供用日		ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		
運転手 ( 一般 )	42.18%	人		運転手 ( 一般 )		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	14.57%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
* * * 単位当り * * *						
殻発生作業：ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込 運搬距離：5.7km以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0027

処分費  
鉄筋コンクリート廃材

施工 第0 -0008号表

100 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	t			
*** 合 計 ***	100	t			
*** 単位当り ***	1	t			
処分費（円 / t）：					

既設部材撤去工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0009号表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	2.300	人			
橋りょう特殊工	6.100	人			
普通作業員	1.800	人			
諸雑費	4.000	%			
*** 単位当り ***	1	t			

# 施 工 内 訳 表

頁0-0029

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

一般養生

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 31.59%

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ

材料構成比： 68.41%

人力打設

市場単価構成比： 0.00%

施工 第0 -0010号表

1  
標準単価：

m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	14.17%	人		普通作業員		
特殊作業員	8.26%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	7.01%	人		土木一般世話役		
生コン 2 4 - 1 2 - 4 0 - B B ( W / C = 5 5 %以下)	68.41%	m 3		生コンクリート 2 4 - 1 2 - 2 5 高炉 W / C 5 5 %		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

# 施工内訳表

頁0-0030

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

## 一般養生

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設

施工 第0 -0010号表

1

m 3 当り

機械構成比： 0.00%      勞務構成比： 31.59%      材料構成比： 68.41%      市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

[illegible]

施 工 内 訳 表

型枠  
一般型枠  
機械構成比：0.00%

鉄筋・無筋構造物  
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1  
m 2 当り

施工 第0 -0011号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	47.44%	人		型わく工		
普通作業員	24.80%	人		普通作業員		
土木一般世話役	9.07%	人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
型枠の種類：一般型枠				構造物の種類：鉄筋・無筋構造物		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0032

鉄筋工

S D 3 4 5 D 1 3

構造物種別による補正なし

施工 第0 -0012号表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 加工・組立共	1.000	t			
異形棒鋼 S D 3 4 5 D 1 3	1.030	t			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	t			
鉄筋規格：S D 3 4 5 規格・仕様：一般構造物 構造物種別：構造物種別による補正なし			鉄筋径： D 1 3 作業条件：標準作業 施工規模：施工規模 1 0 t 未満		
時間的制約の有無： 条件不要 太径鉄筋の割合：太径鉄筋の割合 1 0 % 未満			夜間作業の有無：夜間作業（ 2 0 時～ 6 時 ） なし		



架設工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0013号表

頁0-0033

23 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう世話役	1	人			
橋りょう特殊工	6	人			
普通作業員	3	人			
*** 合 計 ***	23	本			
*** 単位当り ***	1	本			

施 工 内 訳 表

目地板  
瀝青質目地板  
機械構成比：

0.00%

労務構成比：

t=20mm

38.83%

材料構成比：

61.17%

市場単価構成比：

施工 第0 -0014号表

0.00%

標準単価：

1

m 2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	32.27%	人		普通作業員		
土木一般世話役	6.56%	人		土木一般世話役		
瀝青質目地板 厚 2 0 mm	61.17%	m 2		瀝青纖維質目地板 厚 1 0 mm		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
目地板の種類：瀝青質目地板				目地板の規格：t=20mm		

無収縮モルタル

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0015号表

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
無収縮材 セメント系 プレミックスタイプ	1,875.000	kg			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m 3			

# 施 工 内 訳 表

頁0-0036

鉄筋工

施工 第0 -0016号表

S D 3 4 5 (ねじ節鉄筋) D 1 3		構造物種別による補正なし				1	t	当り
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
鉄筋工 加工・組立共		1.000	t					
ねじ節鉄筋 S D 3 4 5 D 1 3		1.030	t					
諸雑費		1	式					
* * * 単位当り * * *		1	t					
鉄筋規格：S D 3 4 5 (ねじ節鉄筋) 規格・仕様：一般構造物 構造物種別：構造物種別による補正なし				鉄筋径： D 1 3 作業条件：標準作業 施工規模：施工規模 1 0 t未満				
時間的制約の有無： 条件不要 太径鉄筋の割合：太径鉄筋の割合 1 0 %未満				夜間作業の有無：夜間作業 ( 2 0 時 ~ 6 時 ) なし				

# 施 工 内 訳 表

頁0-0037

敷鉄板賃料

鋼板 22×1524×3048

供用日数30日

施工 第0 -0017号表

1 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板賃料	1.000	枚			
敷鉄板（鋼板・厚22） 整備費 1524×3048	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	枚			
敷鉄板規格：鋼板 22×1524×3048 供用日数（日）：30 整備費の有無：整備費計上あり			不足分弁償金（ $\text{t}$ / 枚）なし = 0 : 0 継続工事の有無：継続工事なし		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0038

現場発生品・支給品運搬

施工 第0 -0018号表

クレーン付2t積、2t吊(参考)荷台長3.0m幅1.6m 5.0km以下

1

回 当り

機械構成比： 12.71% 労務構成比： 82.46%

材料構成比： 4.83%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック [ クレーン装置付 ] 2 t 積 2 t 吊	12.71%	供用日		トラック [ クレーン装置付 ]		
運転手 ( 特殊 )	41.87%	人		運転手 ( 特殊 )		
普通作業員	40.59%	人		普通作業員		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	4.83%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

# 施工内訳表

頁0-0039

## 現場発生品・支給品運搬

クレーン付2t積、2t吊(参考)荷台長3.0m幅1.6m 5.0km以下

機械構成比： 12.71%      勞務構成比： 82.46%

材料構成比： 4.83%

市場単価構成比： 0.00%

1  
標準単価：

回 当り

[illegible]

敷鉄板設置・撤去

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0019号表

頁0-0040

100 m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.295	人			
とび工	0.295	人			
普通作業員	0.295	人			
バックホウ運転 (機 - 2 8 ) クローラ型・クレーン付 山積 0 . 8 m 3 排出ガス対策型 3 次基準	0.295	日			施工 第0-0020号表
諸雑費	1.000	%			
*** 合 計 ***	100	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			
作業区分：設置・撤去					



# 施 工 内 訳 表

頁0-0041

バックホウ運転（機 - 2 8）

クローラ型・クレーン付 山積0.8m<sup>3</sup> 排出ガス対策型3次基準

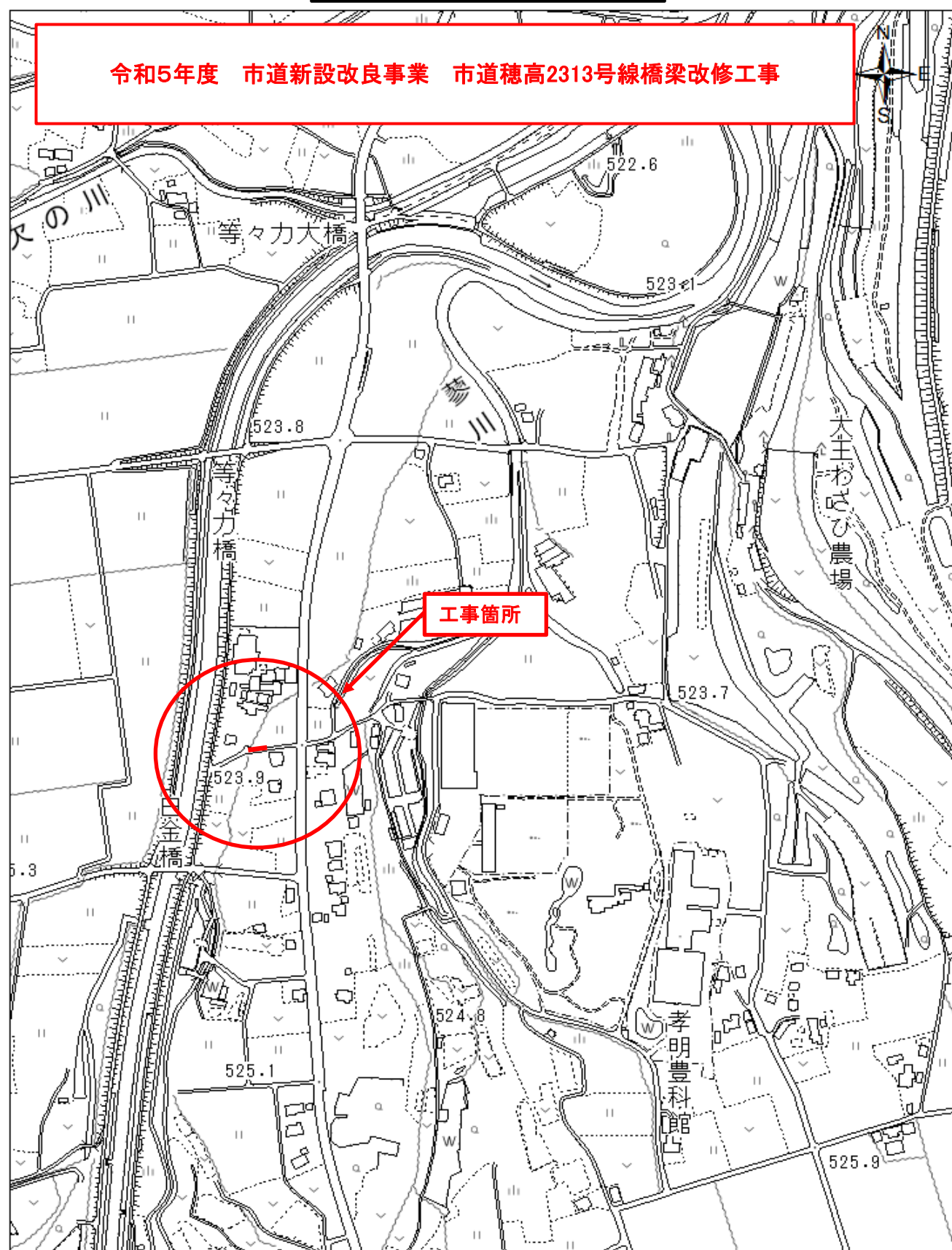
施工 第0 -0020号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ〔クローラ型・クレーン付〕賃料 排ガス3次 山積0.8m <sup>3</sup>	1.060	供用日			
運転手（特殊）	1.000	人			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	112.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格：クローラ型・クレーン付 山積0.8m <sup>3</sup> バックホウ（供用日／日）：1.06 軽油（L／日）：112			排出ガス対策型区分：排出ガス対策型3次基準 特殊運転手（人／日）：1		

# 位置図

令和5年度 市道新設改良事業 市道穂高2313号線橋梁改修工事



1:5,000

0 90 180 360 m

## 特 記 事 項

工事名：令和5年度 市道新設改良事業 市道穂高 2313 号線橋梁改修工事  
箇所名：安曇野市 穂高

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

### 1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおり。

### 2 工期関係

工期は、契約日から 131 日間とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。ただし 80%出来形の提出については、令和5年9月8日(金)までを期限とする。

以降の受付と精算は認めない。

### 3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

### 4 残土・廃棄物関係

(1) 本工事の施工において生じる産業廃棄物及び発生土の処分については、下表の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

搬出先を変更する場合は、協議すること。

(2) 建設発生土 【 参考 】

受入場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
勝野建材(株)	指定	3.1km	

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法） 【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等			
アスファルト塊		再利用	処理工場名		距離 km	
			数 量	t ・ m <sup>3</sup>		
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名		距離 km	
			数 量	t ・ m <sup>3</sup>		
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名	共和リテック(株)	距離 5.4 km	
			数 量	10 ㊦ ・ m <sup>3</sup>		
	二次 製品	再利用	処理工場名		距離 km	
			数 量	t ・ m <sup>3</sup>		
建設発生木材			処理工場名		距離	km
			数 量	t ・ m <sup>3</sup>		

## (4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

【 参考 】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等	
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>
汚 泥		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>
その他（金属クズ他）		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（３）、（４）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

## (5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うとともに、マニフェスト伝票（Ａ、Ｂ２、Ｄ、Ｅ表）の写しをしゅん工書類に添付すること。（写しの添付については、初回、中間、最終を基本とする。少量の場合には、監督員と事前打ち合わせ願います。）

併せて、再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真をしゅん工書類に添付すること。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名		許可番号		
	住 所				
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名		許可番号		
	住 所				
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

## 5 その他

## (1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	上記と同様	上記と同様

安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地 所有者又は管理 者及び工事影響 範囲の利害関係 者など	農地については、 工事の進捗及び営 農上支障になるこ との調整。その他 利害関係者との調 整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所 など	駐車場、案内看板 などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調 整。また、本工事 事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事事に係るこ と	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応 すること。	上記と同様	苦情については、即対 応のこと。要望につい ては、監督員と協議の うえ対応すること。

(2) 個別事項

- 一 工事着手日の2週間前には、現場周辺の住民、区長、町会長、沿線地権者、耕作者へ工事通知文を提出すること。また、必要があれば関係機関への周知、協議を行うこと。  
通知文は協議書で提出し決裁が済んでから周知を行うこと。
- 二 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 三 土台工における地耐力の確認を行うこと。
- 四 工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。  
境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。  
境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。
- 五 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。
- 六 本工事は、工事成績評定の対象工事です。
- 七 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議願います。

## 1, 必要地耐力について

- ・ 床版  $5.7 \text{ m}^3 \times 24.5 \text{ kN/m}^3 = 139.7 \text{ kN}$
- ・ 地覆  $0.44 \text{ m}^3 \times 24.5 \text{ kN/m}^3 = 10.8 \text{ kN}$
- ・ 添架荷重  $1.00 \text{ kN/m} \times 5.5 \text{ m} = 5.5 \text{ kN}$
- ・ 合 計  $= 156.0 \text{ kN}$

(数量計算書、RC 床版構造計算書参照)

- ・ 土台工  $2.5 \text{ m}^3 \times 24.5 \text{ kN/m}^3 = 61.3 \text{ kN}$  (2 基分)

(数量計算書、RC 床版構造計算書参照)

- ・ 活荷重  $10 \text{ kN/m}^2 \times 3.05 \text{ m} \times 5.5 \text{ m} = 167.8 \text{ kN}$

(RC 床版構造計算書参照)

### ※活荷重について

本橋梁は、橋長が 5.5m と短く 14t 車全体が載荷されることは無いため、後輪荷重のみを載荷し、衝撃係数を乗ずるという考え方もできるが、安全側を考慮し、一般的な分布荷重を載荷する。

$$\text{参考：} 2 \times 56 \text{ kN} \times 1.3636 = 152.7 \text{ kN}$$

- ・ 土台工底版面積  $0.80 \text{ m} \times 3.45 \text{ m} = 2.8 \text{ m}^2$

(図面参照)

- ・ 必要地耐力

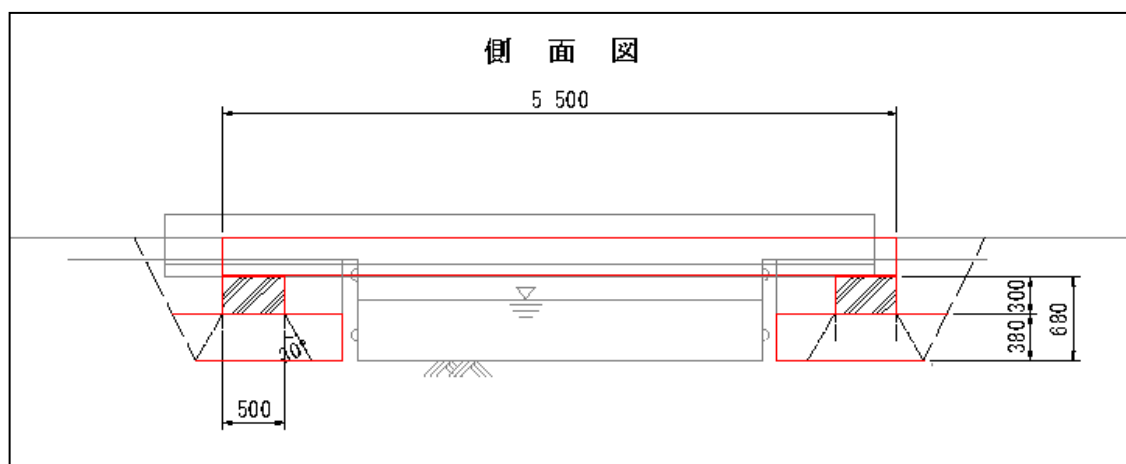
$$0.5 (156.0 + 61.3 + 167.8) = 192.6 \text{ kN}$$

$$192.6 \text{ kN} / 2.8 \text{ m}^2 = 68.8 \text{ kN/m}^2$$

必要地耐力は、68.8kN/m<sup>2</sup> 以上とする。

## 2, 置換厚について

置換厚は、“令和 3 年度 市道新設改良事業 穂高 195 号橋概略検討業務委託”に掲載されている下図を踏襲し、現況河床程度とした。



# 数 量 集 計 表

工 種	項 目	規 格 等	数 量	単位	摘 要
土工	床掘り		10	m <sup>3</sup>	11.7
	埋戻し		5	m <sup>3</sup>	4.8
	碎石埋戻し		5	m <sup>3</sup>	4.7
	残土運搬		7	m <sup>3</sup>	7.4
	残土処理		9	m <sup>3</sup>	8.9
撤去工					
	鉄筋コンクリート構造物取壊し		4	m <sup>3</sup>	3.8
	鉄筋コンクリート運搬		4	m <sup>3</sup>	3.8
	鉄筋コンクリート処分		10	t	9.6
	鋼材撤去		0.2	t	0.2
土台工	コンクリート	24-12-40BB	3	m <sup>3</sup>	2.5
	型枠		10	m <sup>2</sup>	10.4
	鉄筋工	SD345 D13	0.06	t	0.06
	ボイド管		12	本	12
床版工	中桁		1	本	1
	外桁		2	本	2
	架設工		3	本	3
	クレーン	25t	1	日	1
支承工	ゴム支承		1	m <sup>2</sup>	1.0
	ゴム支承加工費		12	箇所	12.0
	目地板		2	m <sup>2</sup>	2.1
	アンカー固定側		6	本	6



工 種	項 目	規 格 等	数 量	単位	摘 要
地覆工	アンカー可動側		6	本	6
	無収縮モルタル		0.007	m <sup>3</sup>	0.007
	コンクリート	24-12-40BB	0.4	m <sup>3</sup>	0.4
	型枠		5	m <sup>2</sup>	4.6
	鉄筋工		0.04	t	0.04
仮設工					
	敷鉄板賃料		15	枚	15
	敷鉄板運搬		6	回	6
	敷鉄板設置撤去		70	m <sup>2</sup>	70
技術管理費	平板載荷試験	10t以内	1	箇所	1

土工①

1, 床掘

起点側

	単距離 (m)	面積 (m2)	平均面積 (m2)	体積 (m3)
①	0.00	0.00	0.00	0.00
②	0.70	1.32	0.66	0.46
③	3.50	1.32	1.32	4.62
④	0.70	0.00	0.66	0.46
計	4.90			5.54

終点側

	単距離 (m)	面積 (m2)	平均面積 (m2)	体積 (m3)
①	0.00	0.00	0.00	0.00
②	0.70	1.46	0.73	0.51
③	3.50	1.46	1.46	5.11
④	0.70	0.00	0.73	0.51
計	4.90			6.13

総計 11.7 m3

2, 埋戻し土

起点側

	単距離 (m)	面積 (m2)	平均面積 (m2)	体積 (m3)
①	0.00	0.00	0.00	0.00
②	0.70	0.51	0.26	0.18
③	3.50	0.51	0.51	1.79
④	0.70	0.00	0.26	0.18
計	4.90			2.15

終点側

	単距離 (m)	面積 (m2)	平均面積 (m2)	体積 (m3)
①	0.00	0.00	0.00	0.00
②	0.70	0.51	0.26	0.18
③	3.50	0.51	0.51	1.79
④	0.70	0.00	0.26	0.18
計	4.90			2.15

総計 4.3 m3

$$4.3 \div 0.9 = 4.8$$

土工②

3, 置換土

起点側

	単距離 (m)	面積 (m2)	平均面積 (m2)	体積 (m3)
①	0.00	0.00	0.00	0.00
②	0.70	0.55	0.28	0.20
③	3.50	0.55	0.55	1.93
④	0.70	0.00	0.28	0.20
計	4.90			2.33

終点側

	単距離 (m)	面積 (m2)	平均面積 (m2)	体積 (m3)
①	0.00	0.00	0.00	0.00
②	0.70	0.55	0.28	0.20
③	3.50	0.55	0.55	1.93
④	0.70	0.00	0.28	0.20
計	4.90			2.33

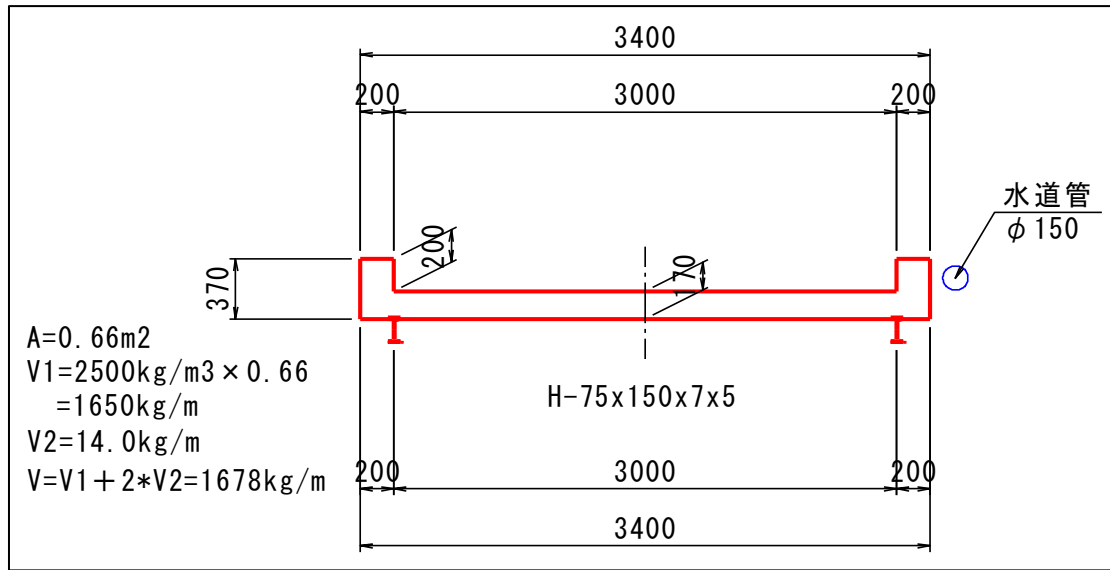
総計

4.7 m3

$$\text{残土運搬} \quad 11.7 \quad - \quad 4.3 \quad = \quad 7.4$$

$$\text{残土処分} \quad 7.4 \quad * \quad 1.2 \quad = \quad 8.9$$

# 撤去工①



橋長 : L=5.80m

## 1, コンクリート

V1	=	2	×	0.200	×	0.370	×	5.800	=	0.86	m <sup>3</sup>	
V2	=	3.000	×	0.170	×	5.800	=	2.96	m <sup>3</sup>			
									$\Sigma$	=	3.82	m <sup>3</sup>
									$\Sigma$	=	<b>3.82</b>	m <sup>3</sup>

W	=	3.82	×	2.5	=	9.6	t			
鉄筋コンクリートの単位体積重量 : 24.5/9.81=2.497≒2.5t/m							$\Sigma$	=	<b>9.6</b>	t

## 2, 鋼材 (H-75×150×7×5)

W	=	2	×	5.80	×	0.014	=	0.2	t	
H形鋼の単位体積重量 : 0.014t/m							$\Sigma$	=	<b>0.2</b>	t

## 構 造 物 数 量 計 算 書

名 称	品 種	形状・寸法等			備 考
土台工	コンクリート	24-12-40BB		2.5 m <sup>3</sup>	土台配筋図より
	型枠工			10.4 m <sup>2</sup>	
	鉄筋工			0.06 t	
	ボイド管			12 本	
床版工	中桁			1 本	RC床版一般図より
	外桁			2 本	
	架設工			3 本	
	クレーン			1 日	
支承工	ゴム支承			1.0 m <sup>2</sup>	
	ゴム支承加工費			12.0 箇所	RC床版一般図より
	目地材			2.1 m <sup>2</sup>	
	アンカー	固定側		6 本	
		可動側		6 本	
	無収縮モルタル			0.007 m <sup>3</sup>	
地覆工	コンクリート	24-12-40BB		0.4 m <sup>3</sup>	RC床版一般図より
	型枠工			4.6 m <sup>2</sup>	
	鉄筋工			0.04 t	

# 仮設工数量計算書

[illegible]

## 資材単価等について

工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和5年度実施設計単価表」や積算資料（財団法人経済調査会）及び建設物価（財団法人建設物価調査会）に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

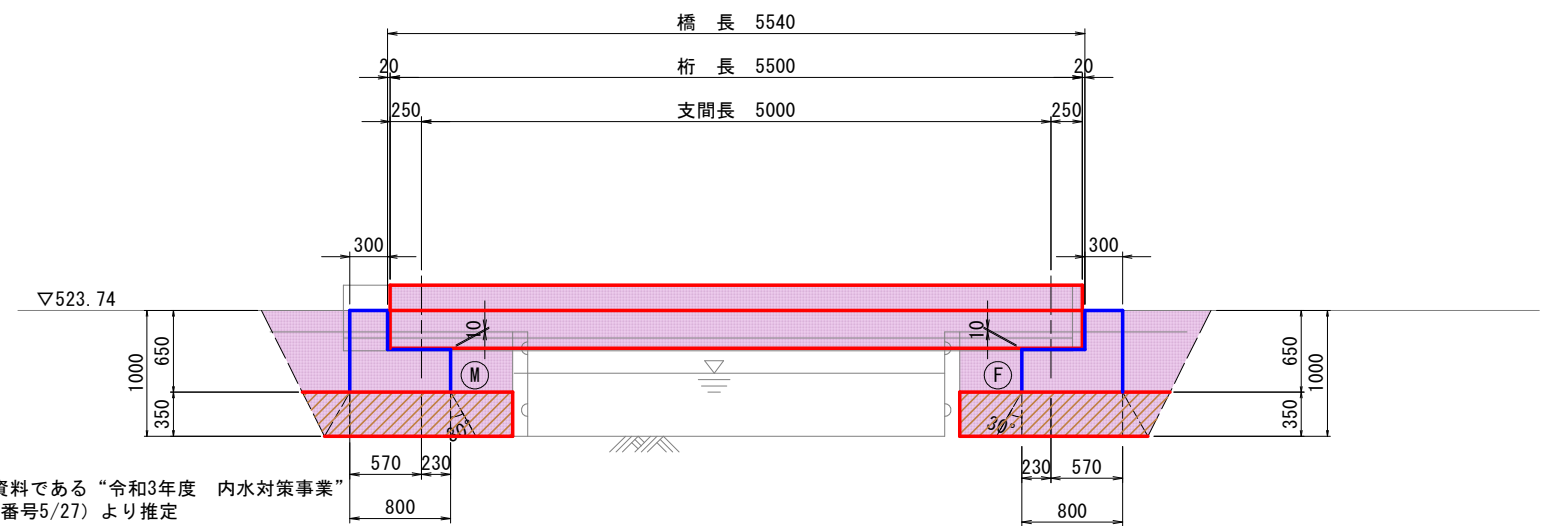
見積等により決定している設計単価

( 四 )

[illegible]

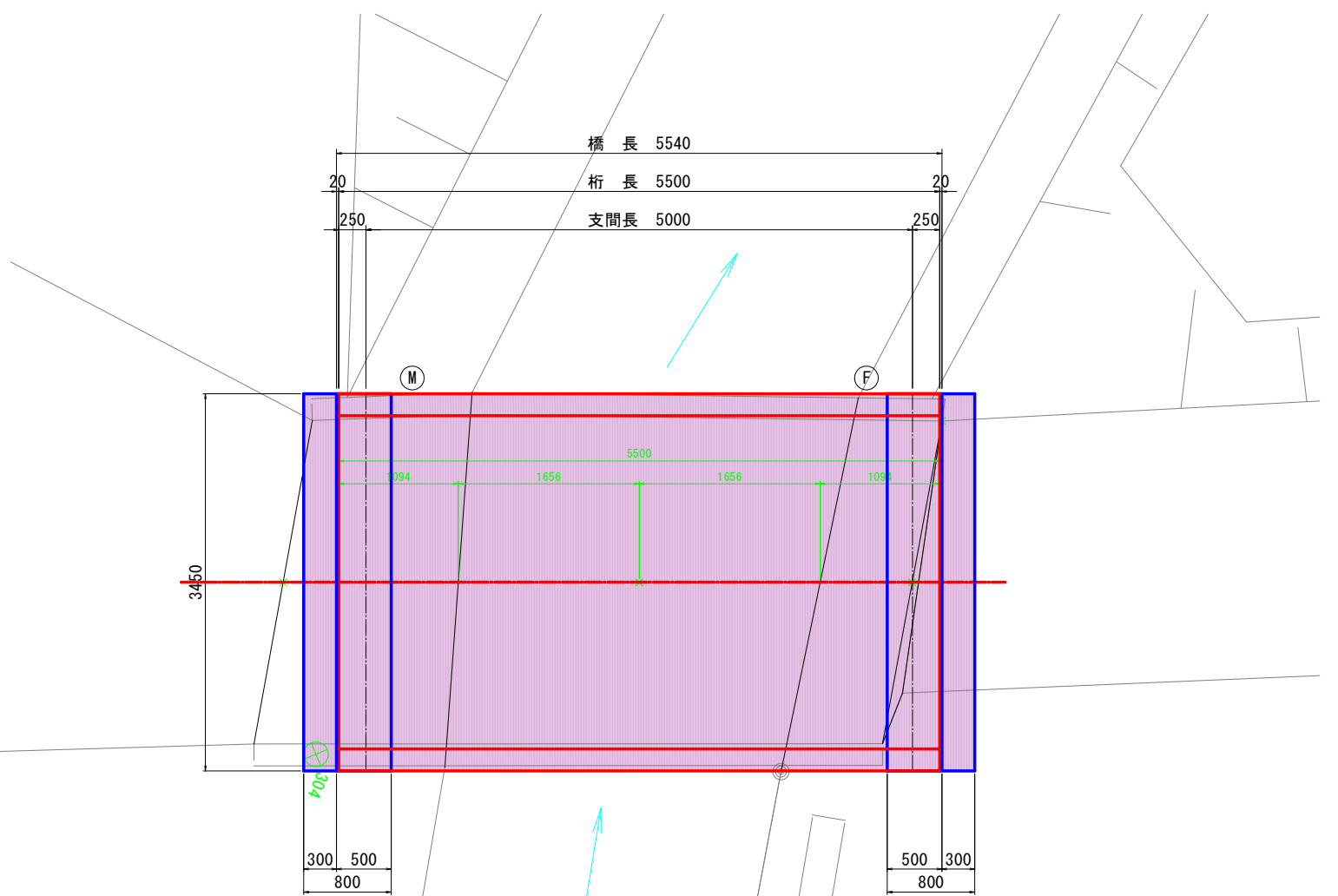
橋梁一般図 S=1 : 30  
(S=1 : 60)

側面図 S=1 : 30  
(S=1 : 60)

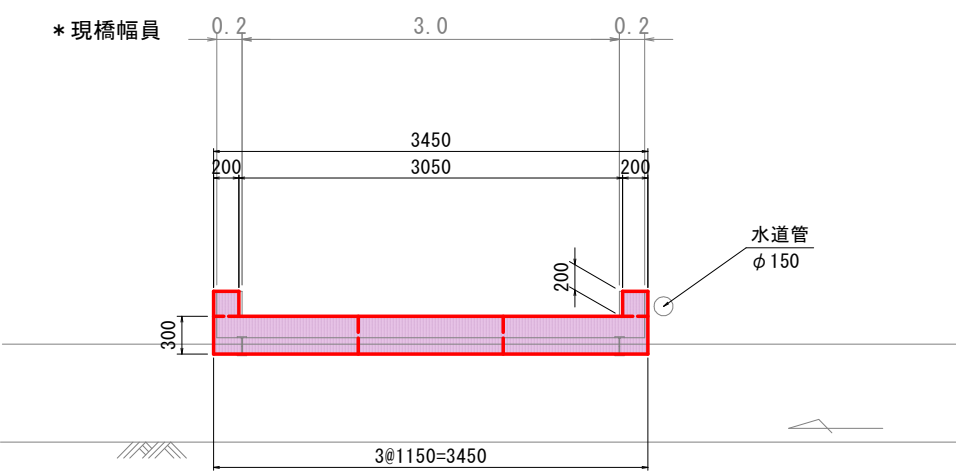


路面高は、貸与資料である“令和3年度 内水対策事業”  
横断図(3) (図面番号5/27)より推定

平面図 S=1 : 30  
(S=1 : 60)



断面図 S=1 : 30  
(S=1 : 60)



設計条件

路線名	市道穂高2313号線
道路規格	第3種第5級
形式	RCプレキャスト床版橋
活荷重	TL-14
橋長	5.54m
桁長	5.50m
支間長	5.00m
幅員構成	車道：2.55m, 路肩：0.25m×2
平面線形	R=∞
斜角	90° 00' 00"
縦断勾配	0.00 %
横断勾配	0.00 %
雪荷重	無し
添架荷重	1.0 kN/m

※支承端距離  
 $S \geq 0.2 + 0.005L$   
 $= 0.2 + 0.005 \times 5.0 = 0.225\text{m}$   
地耐力=68.8KN/m<sup>2</sup>

実施図

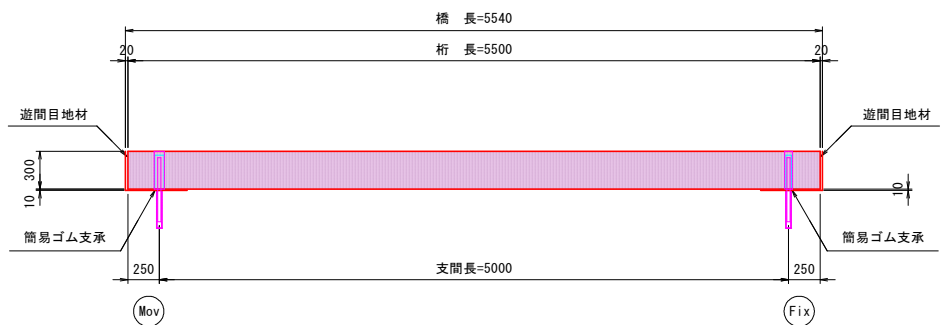
令和5年度 市道新設改良事業 市道穂高2313号線橋梁改修工事			
番号	1 / 6	橋梁一般図	縮尺 1 : 30
穂高195号橋			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			



RC床版一般図

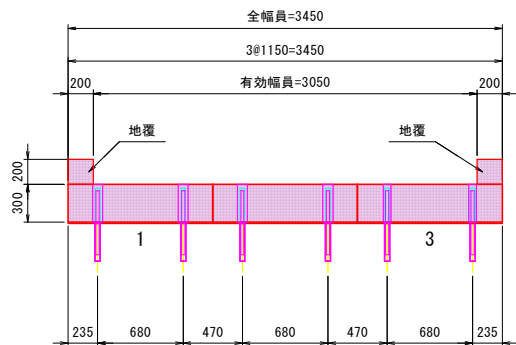
側面図

S=1:30  
(S=1:60)



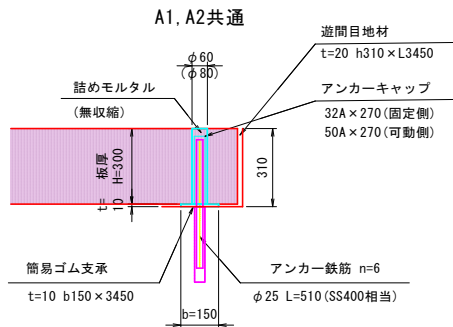
断面図

S=1:30  
(S=1:60)



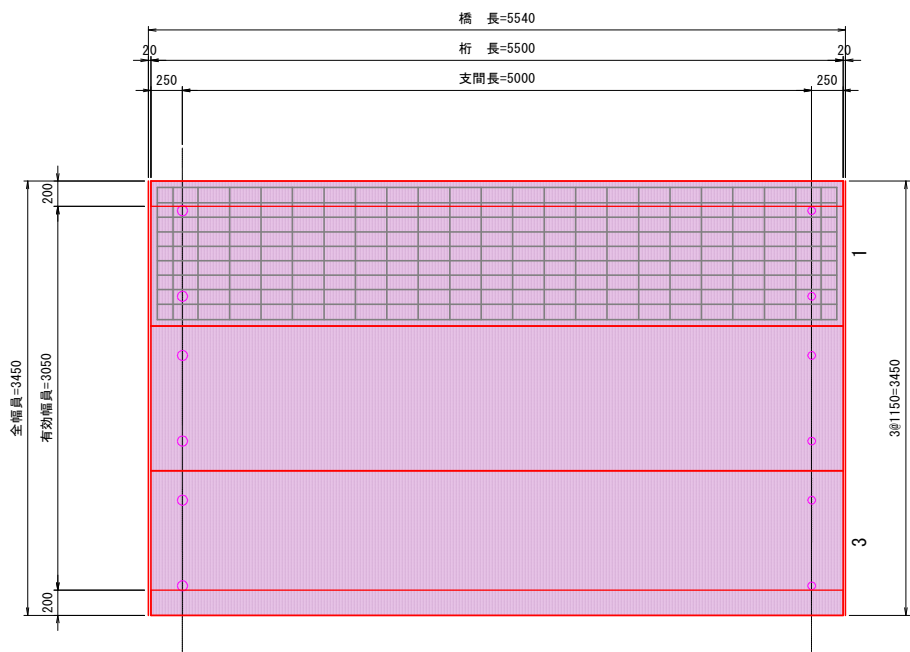
支承詳細図

S=1:15  
(S=1:30)



平面図

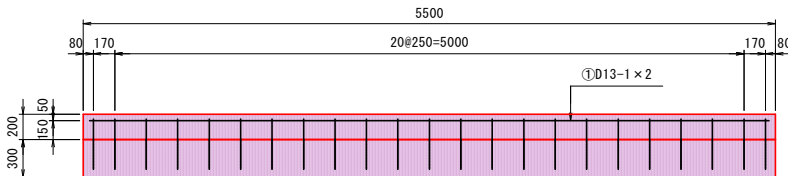
S=1:30  
(S=1:60)



地覆詳細図

S=1:30  
(S=1:60)

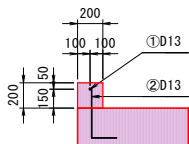
側面図



平面図



断面図



鉄筋加工図

S=1:30  
(S=1:60)

①2-D13 L=5400

②46-D13 L=593

鉄筋数量表

※全延長当たり					
番号	径	鉄筋長 (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)
①	D13	5400	2	0.995	5.373
②	D13	593	46	0.995	0.590
				SD345	D13 37.8 kg
				合 計 37.8kg = 0.04 t	

数量表

規格 (mm)		製品長 (mm)	製品番号	本数	参考質量 (kg/本)	摘要
H	B	L				
300	1150	5500	2	1	4740	中桁
		5500	1, 3	2	4740	耳桁, 地覆差し筋付
架設工		合計		3		
クレーン (25 t)				1	日	

※RC床版は、ズレ止めアンカー孔φ60-2, φ80-2付

支承材料表

名称	規格	単位	数量
簡易ゴム支承 n=2枚	t=10mm b150×3450	m <sup>2</sup>	1.0
ゴム加工費		箇所	12
遊間目地材	t=20mm h310×3450	m <sup>2</sup>	2.1
アンカー鉄筋	固定側	本	6
	可動側	本	6
詰めモルタル	無収縮	m <sup>3</sup>	0.007

地覆材料表

名称	規格	単位	数量
地覆コンクリート	24-12-40	m <sup>3</sup>	0.4
型枠	地覆コンクリート用	m <sup>2</sup>	4.6
鉄筋	SD345	t	0.04

算出式: V=(0.2×0.2×5.5)×2=0.4m3

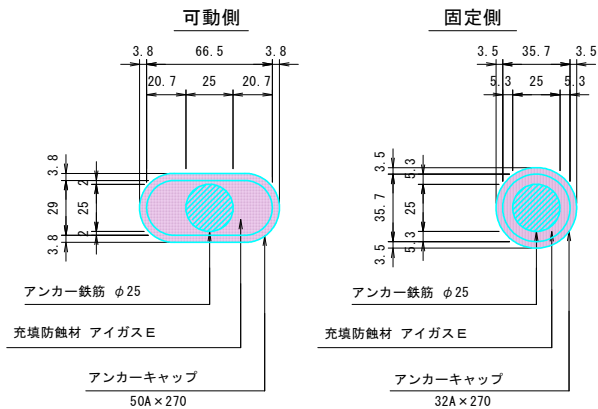
算出式: A1=2×0.2×5.5×2=4.4

A2=2×0.2×0.2×2=0.2

計 4.4+0.2=4.6m2

アンカーキャップ詳細図

S=1:2  
(S=1:4)



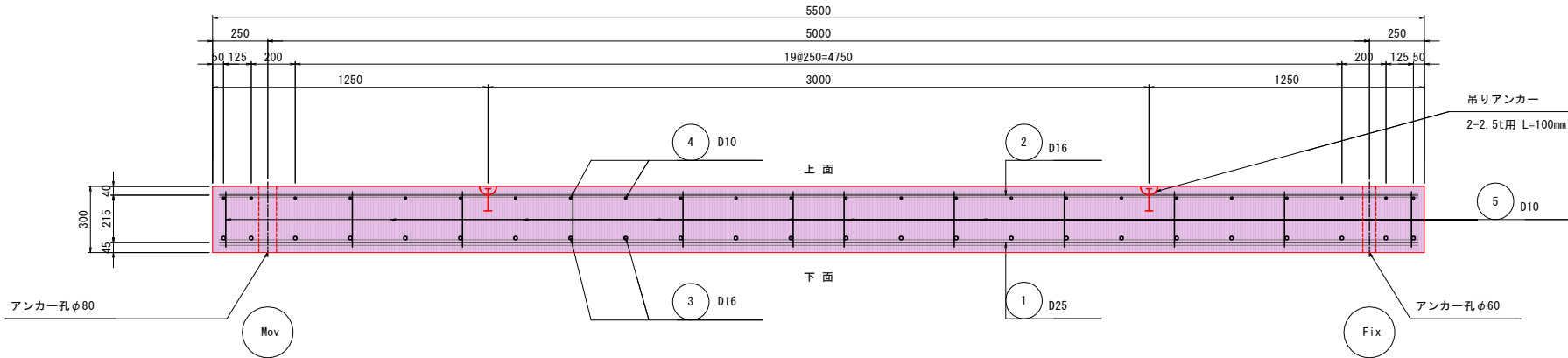
実施図

令和5年度 市道新設改良事業 市道穂高2313号線橋梁改修工事			
番号	2 / 6	RC床版一般図	縮尺 図示
穂高195号橋			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			

RC床版 構造配筋図  
(H-300xB-1150xL5500)

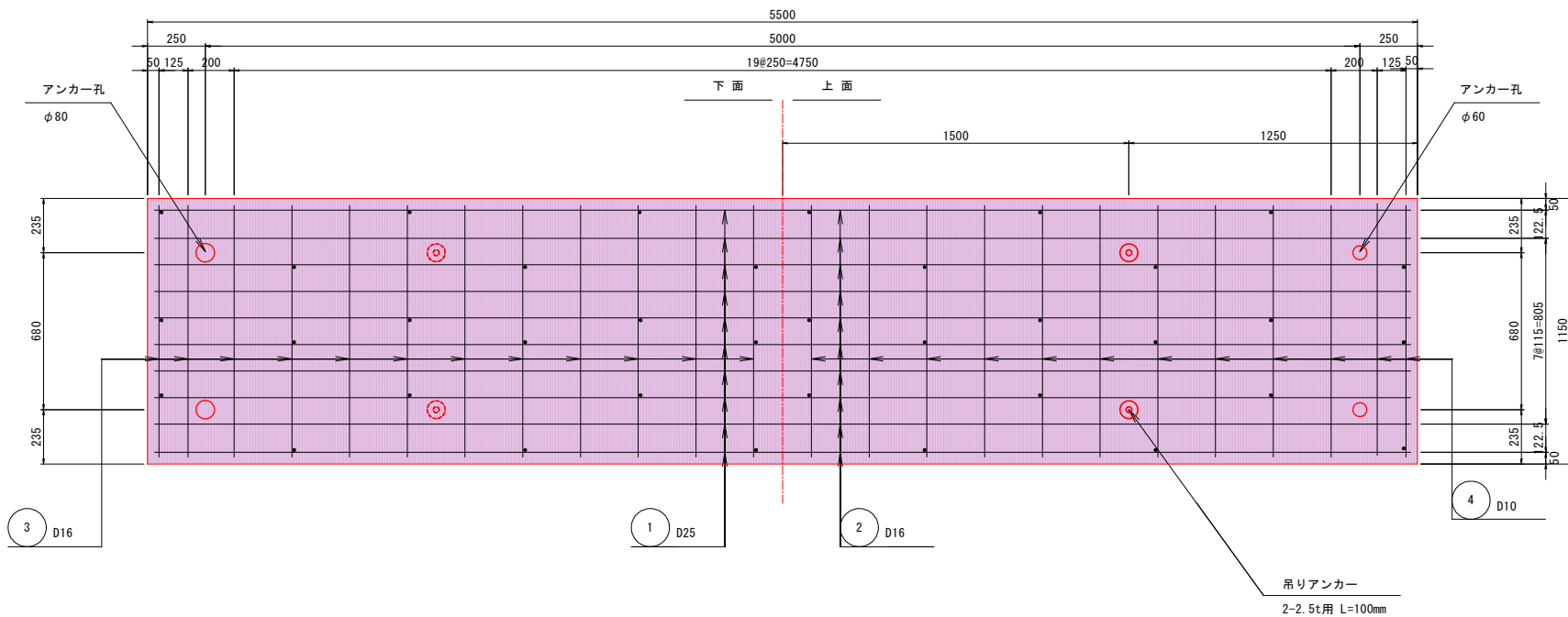
側面図

S=1 : 15  
(S=1 : 30)



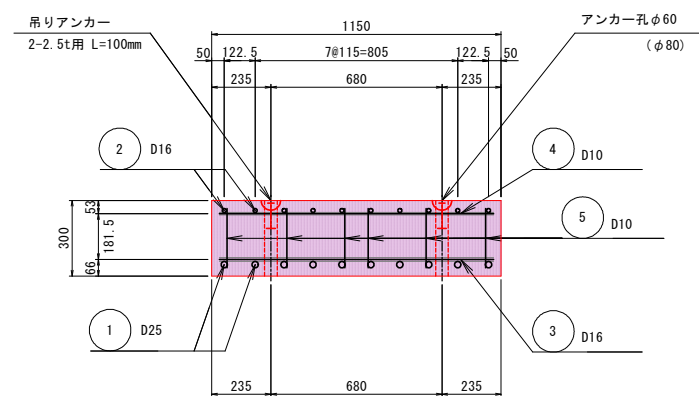
平面図

S=1 : 15  
(S=1 : 30)



断面図

S=1 : 15  
(S=1 : 30)



鉄筋表

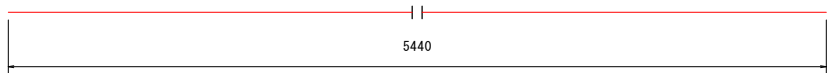
番号	径	鉄筋長 (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)
①	D25	5.440	10	3.98	21.651	216.510
②	D16	5.440	10	1.56	8.486	84.860
③	D16	1.090	24	1.56	1.700	40.800
④	D10	1.090	24	0.560	0.610	14.640
⑤	D10	0.250	36	0.560	0.140	5.040
合 計						361.850 kg

名 称	体 積 ( m <sup>3</sup> )	質 量 ( k g )	備 考
コンクリート	1.898	4740	$\sigma_{ck} = 40 \text{ N / mm}^2$

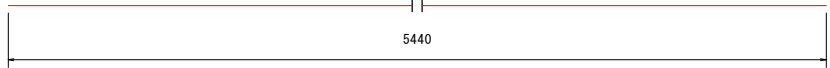
※鉄筋の材質はSD295A同等以上とする。

鉄筋加工図

1 10-D25x5440



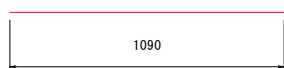
2 10-D16x5440



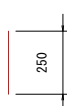
3 24-D16x1090



4 24-D10x1090



5 36-D10x250



実施図

令和5年度 市道新設改良事業 市道穂高2313号線橋梁改修工事			
番号	3/6	RC床版構造配筋図	縮尺 1:15
穂高195号橋			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			

土台配筋図  
(起終点共通)

S=1 : 10

(S=1 : 20)

土台材料表

名称	規格	単位	数量
コンクリート	24-12-40BB	m <sup>3</sup>	2.5
型枠	地覆コンクリート用	m <sup>2</sup>	10.4
鉄筋	SD345	t	0.06

コンクリート  
算出式 :  $V=0.3 \times 0.31 \times 3.45=0.32$   
 $0.8 \times 0.34 \times 3.45=0.94$   
 $(0.32+0.94) \times 2=2.5\text{m}^3$

型枠  
算出式 :  $A=2 \times 0.3 \times 0.31=0.2$   
 $2 \times 0.8 \times 0.34=0.5$   
 $1 \times 0.31 \times 3.45=1.1$   
 $1 \times 0.34 \times 3.45=1.2$   
 $1 \times 0.65 \times 3.45=2.2$   
計  $5.2 \times 2=10.4\text{m}^2$

鉄筋数量表

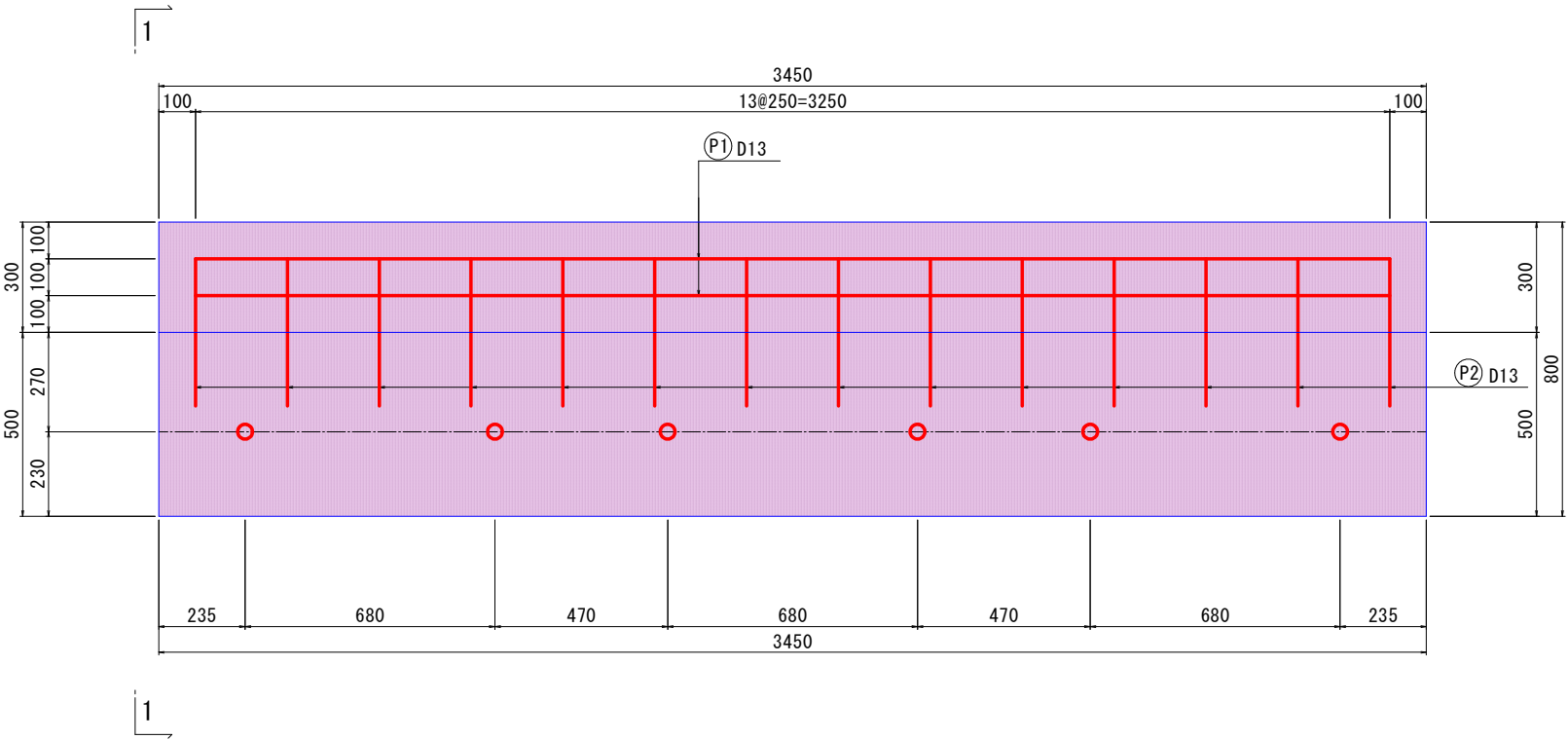
※全延長当たり					
番号	径	鉄筋長 (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)
①	D13	3250	4	0.995	3.234
②	D13	1320	14	0.995	1.313

SD345		D13	31	kg
合 計			31	kg
総 計		31x2基=	62	kg=0.06t

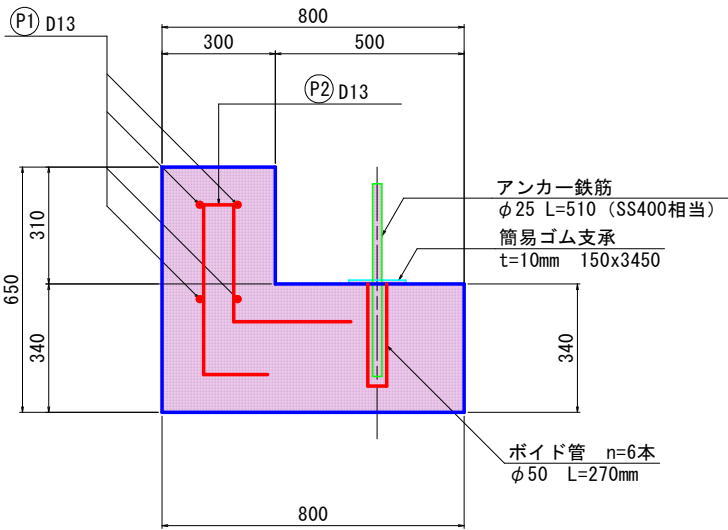
ポイド管 (φ50、L=270mm) n=6 x 2=12本 (L=3.12m)

※ アンカー鉄筋は“RC床版一般図”にて計上

平 面 図



1-1 断面図



① 4-D13x3250

② 14-D13x1320

実施図

令和5年度 市道新設改良事業 市道穂高2313号線橋梁改修工事			
番号	4/6	土台配筋図	縮尺 1:10
穂高195号橋			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			

50ton ラフタークレーン 定格総荷重表

作業半径 (m)	ブーム長さ(m)				
	10.4	17.55	24.7	31.85	39.00
3.0	50.00	28.00	20.00	14.00	
3.2	45.00	28.00	20.00	14.00	
3.5	41.00	28.00	20.00	14.00	
4.0	37.00	28.00	20.00	14.00	7.60
4.5	33.50	28.00	20.00	14.00	7.60
5.0	30.20	28.00	20.00	14.00	7.60
5.5	27.50	26.10	20.00	14.00	7.60
6.0	25.00	24.40	20.00	14.00	7.60
6.5	22.70	22.40	18.70	14.00	7.60
7.0	20.70	20.60	17.60	13.50	7.60
7.5	18.90	16.60	13.00		7.60
8.0	17.50	15.60	12.50		7.60
8.5	16.20	14.70	11.90		7.60
9.0	15.00	13.90	11.30		7.60
10.0	13.00	12.30	10.30		7.60
11.0	11.00	10.90	9.40		7.10
12.0	9.30	9.20	8.65		6.60
13.0	7.90	7.75	8.00		6.15
14.0	6.75	6.60	7.40		5.75
15.0		5.65	6.50		5.35
16.0		4.90	5.70		5.00

本体自重	38.90 ton	
50tonクレーン定格荷重	12.30 ton	撤去用

25ton ラフタークレーン 定格総荷重表

作業半径 (m)	ブーム長さ(m)			
	9.5	16.5	23.5	30.5
2.5	25.00	19.00	12.50	
3.0	25.00	19.00	12.50	7.00
3.5	25.00	19.00	12.50	7.00
4.0	23.00	19.00	12.50	7.00
4.5	21.20	18.00	12.50	7.00
5.0	19.40	16.70	12.50	7.00
5.5	17.80	15.60	11.75	7.00
6.0	16.30	14.60	11.10	7.00
6.5	15.10	13.80	10.50	7.00
7.0	13.70	13.00	10.00	7.00
8.0			9.00	7.00
9.0			8.20	6.30
10.0		7.30		5.80
11.0				5.30
12.0				4.90
13.0				4.50
14.0				4.15
15.0				3.80

本体自重	26.50 ton	
25tonクレーン定格荷重	7.30 ton	架設用

クレーン配置図

S=1 : 100  
(S=1 : 200)

既設電線位置

A=70m2

吊り荷重  
RC床版 : 5.5x1.15=6.325m2  
6.325x7.35=46.5KN  
フック : 2.2KN (25t吊用)  
合 計 : 46.5+2.2=48.7KN≒4.96ton

盛土及び敷鉄板により、道路幅員3.0mと  
クレーン設置ヤードを確保

作業半径 10.0m  
ブーム長さ 23.5m  
定格総荷重 7.30ton

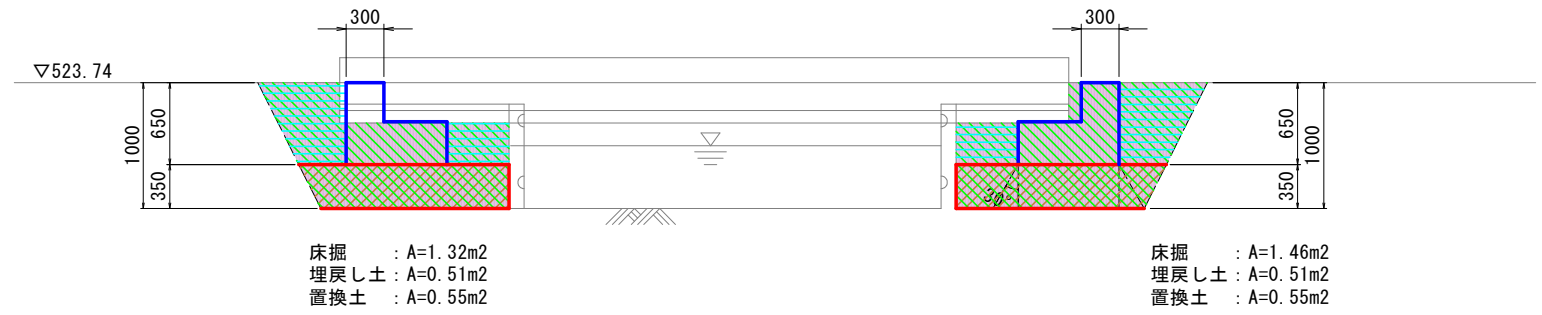
種 別	計 算 式	数 量	単位
敷鉄板	22mm×1524mm×3048mm		
面積	1.524m×3.048m	=	4.65 m <sup>2</sup>
枚数	70m <sup>2</sup> /4.65m <sup>2</sup>	≒	15 枚
重さ	0.802 t ×15枚	=	12.03 t
運搬	12.03t/2t	=	6 回

実施図 (参考図)

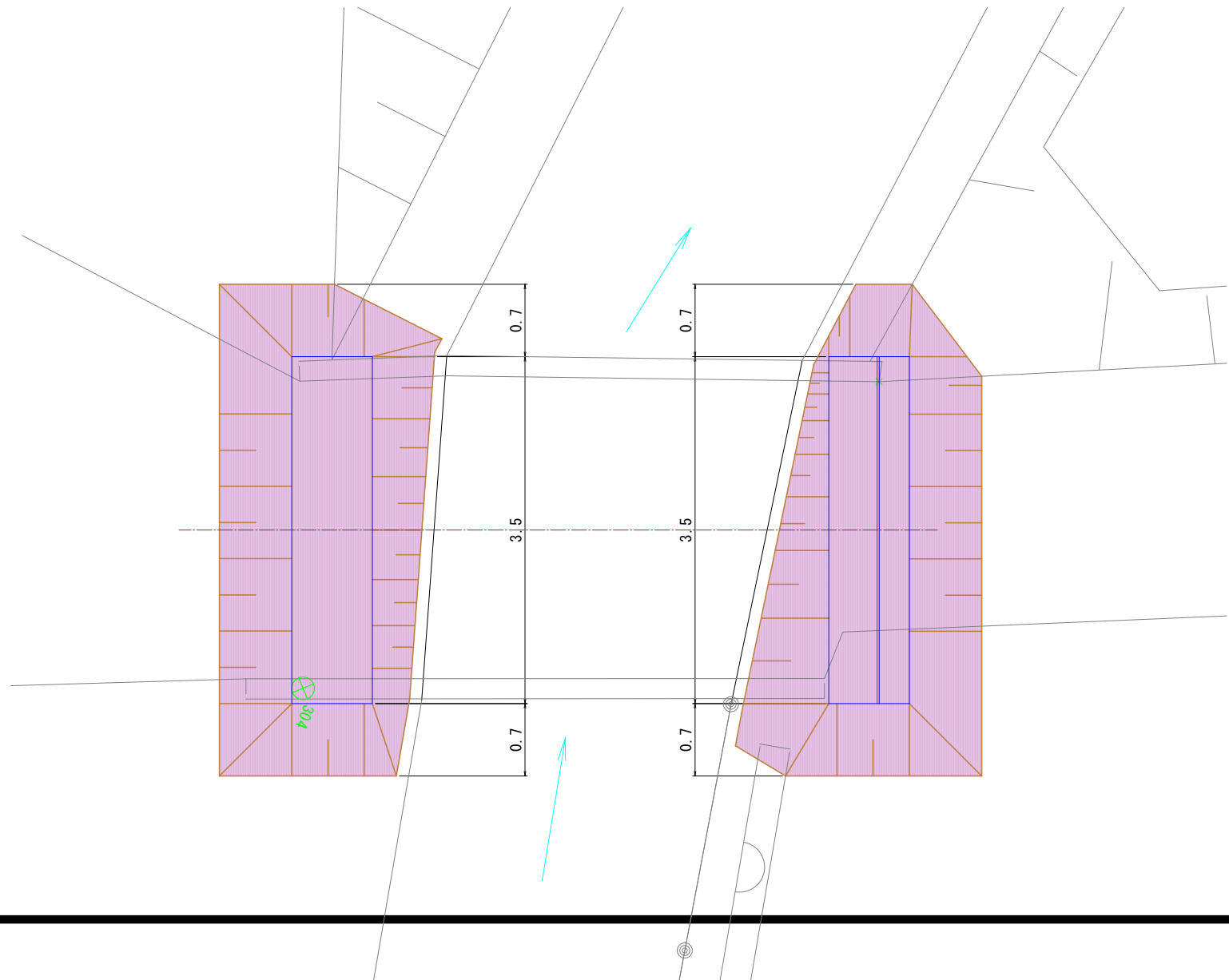
令和5年度 市道新設改良事業 市道穂高2313号線橋梁改修工事			
番号	5/6	クレーン配置図	縮尺 1:100
穂高195号橋			
安曇野市 穂高			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			

土工図 S=1 : 30  
(S=1 : 60)

側面図 S=1 : 30  
(S=1 : 60)



平面図 S=1 : 30  
(S=1 : 60)



実施図				
令和5年度 市道新設改良事業 市道穂高2313号線橋梁改修工事				
番号	6 / 6	土工図	縮尺	1 : 30
穂高195号橋				
安曇野市 穂高				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安 曇 野 市				